

词语的岁时记 2月的季语

2月的别名称为如月(kisaragi), 据说此词来自:由于天气又寒冷起来,需再加穿衣服的月份一说,还拼写为“绢更月”以及“衣更月”。

但是,日历上就要迎接“立春”,寒冷已过,进入春天的日子称为“立春”。白天渐渐变长,在三寒四暖变化之中(寒天持续3日左右,之后暖天持续4日左右),春天渐渐临近。

另外,24节气中之一的“雨水”和立春一样。几乎不太被知晓,是冰雪溶化,成为雨水之意,从这时起最冷的时候过去了,春初第一次刮来的较强南风、有的地区可开始听见黄莺的啼声,是从前开始农耕准备的基准。

由于是春初第一次刮来的较强南风,草木就发芽的月,因此2月还有其它别名:草木张月(kusakiharizuki)以及梅见月(umemitsuki)、木纹月(konometsuki)等。

顺便提一下,2月在日历里是日数最少的一个月,由于日子一下子就过去了,将其表现为“2月是逃脱的”。在寒暖交替之中,春天马上就要来临。

ことばの歳時記 ～2月の季語～

2月の別名を如月(きさらぎ)と呼びますが、寒さがぶりかえし衣を更に着る月ということから、「絹更月」や「衣更月」と綴ることもあります。

ただし暦の上では、寒さがあけて春に入る日とされる「立春」を迎え、だんだんと昼が長くなり、三寒四温(寒い日が三日ぐらい続くと、そのあと四日ぐらいは暖かい日が続くこと)しながら、徐々に春に向かっていきます。

また、立春と同じく二十四節気のひとつである「雨水」。あまり知られてはいませんが、氷雪が溶けて雨水となるという意味で、この頃から寒さも峠を越え、春一番が吹き、鶯の鳴き声が聞こえ始める地域もあり、昔から農耕の準備を始める目安とされてきました。

春一番が吹くと、草木の芽が張り出す月であることから、2月は草木張月(くさきはりづき)や梅見月(うめみつき)、木目月(このめつき)などの別名もあります。

ちなみに2月は、カレンダーの日数が一番少ない月で、あっという間に日にちが経つことから、「2月は逃げる」と表現します。寒さと温かさが交互に入れ替わりながら、春はすぐそこまでやって来ています。